

「2015年3月期第2四半期決算説明会」主なQ&A

【電気料金の再値上げについて】

Q：電気料金の再値上げについてどのように考えているのでしょうか。

A：第2四半期決算が黒字であった主な要因は燃料費調整制度の影響とコスト削減の成果であると考えております。「生産性倍増委員会」においてコスト削減や生産性向上の余地を徹底的に検討し、同委員会の結果なども踏まえて、再値上げの判断をしております。

【コスト削減と生産性倍増委員会の取り組みについて】

Q：生産性倍増委員会においてどのような方針でコスト削減を検討しているのでしょうか。

A：新・総合特別事業計画で見込んでいる電気事業費用からの深掘りという視点と、コスト削減策を一過性のものとしなないための経年的な分析という2つの視点があると考えております。年内には最終報告として「合理化レポート」をとりまとめる予定です。

【サービスの全国展開における電源確保の考え方について】

Q：全国での電力販売にあたり関東周辺エリア以外で自社電源を持つことを考えていますか。

A：全国での電力販売は、新・総合特別事業計画で掲げている方針ですが、関東周辺エリア以外での電源確保が課題と認識しており、当面は自家発電等既存電源からの購入などを検討しております。

【既存社債の権利保護について】

Q：ホールディングカンパニー制移行にあたり、既存社債の権利保護についてどのように考えているのでしょうか。

A：新・総合特別事業計画に記載してあるとおり、既存社債の権利保護については、事業子会社が自由度を持って経営できるよう、連帯債務または連帯保証を負担することなく、親子間での社債発行により既存社債の権利保護を図る計画ではありますが、既存社債などの取り扱いについて経産省の制度設計ワーキンググループで議論されており、現段階で決定した訳ではございません。また、電力の安定供給に支障ない形で資金調達できるかどうか、および金融市場に与える影響への配慮も重要な点であると考えております。

以上